

1. FUJI 2. TAKA 3. CHALLENGE



た か お か

発行：まちづくり協議会 編集：まちづくり新聞編集委員会 連絡先：まちづくりセンター (Tel.71-3215)

まちづくり協議会が総会

鷹岡地区の区長会をはじめ生涯学習推進会、福祉推進会などの各種団体で組織する鷹岡地区まちづくり協議会の「令和6年度総会」が5月17日、まちづくりセンターで開かれ、本年度の事業計画など5議案を全会一致で承認しました。協議会の構成8部会の活動がフル稼働し、地区の課題解決に向けての取り組みを一層加速させることを確認しました。以下、総会の状況をお伝えします。

総会には、協議会の構成団体の代表など60人余が出席。あいさつに立った遠藤晃会長は、まず、4月6日の「第36回さくら祭り」が天候に恵まれ、桜花爛漫、前年にも増して多くの区民が参加して盛会裏に開催できたことに「これも裏方として、コツコツと準備や運営に尽力された、ここに出席の皆様、並びに協力を賜った関係各位のおかげである」と、労いとお礼の言葉を述べました。また、地区まちづくり協議会を受け皿にまちづくりセンターの運営管理を委ねる指定管理者制度に言及して「制度の導入により各地区まちづくり事業は大きく変化しようとしており、まちづくり協議会においては、事業の企画立案の煩雑な事務作業の多くを、現在はまちづくりセンターの職員に頼る現状にあるが、これからは、地域の責任で1つ1つをこなしていかなければならないという時代がすぐそこに来ている。組織のあり方や人材の発掘、育成が喫緊の課題となっている」ことを指摘し、避けては通れない地区課題に理解を求めました。



協力を呼び掛ける遠藤会長

その上で『あなたが主役！ みんなが笑顔になれるまち鷹岡』を合言葉に、地域特性を生かしたまちづくり事業を展開し、地域の活性化を図っていかなければならないとの考えを改めて示し、「地域の絆を深めながら、皆様の知恵と力を借りて事業に取り組んで参りたい」と述べ、支援と協力を呼び掛けました。

総会で決定した本年度の主な事業は、さくら祭りに合わせて実施した写真コンクール展示会(5月18日～同31日)、「子ども育成体験事業」(内容・期日未定、こども部会で検討)、地域活性化事業「潤井川左岸の清掃」(11月10日)、市長との対話集会である「行政懇談会」(11月20日)、「まちづくり講演会」(期日、内容は今後検討)などで、このほか構成する8部会(こども、安全、福祉、環境、体育、文化、防災、広報)では、総会后、各々会合を開き部会単位の事業に取り組み、広報部会が取り組んでいるまちづくり新聞『たかおか』も、これまでと同様に、年3回の発行を予定しています。

まちづくり協議会とは… まちづくり協議会は、本格的な人口減少や少子・高齢化が進む中、持続可能なまちづくり活動の構築を目的に、それまでの「まちづくり推進会議」が発展的に解散して、平成26年度に全市一斉(26地区)に誕生した組織です。部会制が最大の特徴で、構成する各団体の活動を尊重し、団体間の連携強化を図ったことが見直しのポイントです。平成28年11月に制定した「富士市地区まちづくり活動推進条例」によって位置づけられ、参画する団体・推進委員等の部会活動の調整を行い、**さまざまな分野における地域課題の解決に向け、活発な活動を促進していくなど、多くの役割を行っていくことが求められている団体です。**

令和4年度、市は地区まちづくりセンターに指定管理者制度を導入。現在、モデル地区2地区(松野・須津)において、まちづくり協議会が指定管理者に指定され、センターの運営・管理が行われています。

1 市民・1 ボランティアで未来を築こう

総会 〈2024〉

4 月 18 日 福祉推進会総会

鷹岡地区福祉推進会の「令和 6 年度総会」が 4 月 18 日、鷹岡まちづくりセンターで開かれ、本年度の事業予算、役員体制を決定、今年度も地域福祉の向上に会員一丸となって取り組むことを確認しました。



挨拶を述べる佐野会長

総会での挨拶で佐野康雄会長は、昨年度の数々の取り組みに対する協力に感謝。その中では、高齢者のふれあい訪問では 230 軒近くの訪問が出来たことを報告しました。

今年度も誰もが安心してともに暮らせるまちづくりのための、鷹岡地区の目標「ふれあい訪問で見る・つながる・つなげる関係づくり」を今以上に実行していき、「鷹岡地区は素晴らしい…と思えるよう、皆さんと頑張っていきたい」と述べられました。

総会での決定事項は次の通りです。

- さくら祭りに協力（4 月 6 日）
- 地区文化祭に協力（10 月 20 日）
- ふれあい昼食会[訪問]（11 月に実施予定）
- 防災（避難者管理班）研修（10 月 24 日）
- 世代間交流事業[まゆ玉作り]（1 月 10 日）
- ふれあい・いきいきサロン交流会の開催（1 月 23 日）
- 福祉研修会（2 月 20 日）
- 福祉施設への支援[友愛訪問]（毎月）
- 鷹岡小学校 CS ボランティア活動（随時）
- 見守り活動（随時・重点日 毎月 5 日）
- 地域ケア会議への参加（随時）
- この他市主催福祉関連事業に参画協力。

本年度の予算総額は 47 万 7 千円。一方、支出では、ふれあい昼食会経費に 21 万円など事業費が 36 万 2 千円、他諸経費を含め総計 47 万 7 千円を計上、承認されました。

本年度の役員体制は次の通りです。 「敬称略」

- 【会 長】佐野康雄（元民生児童委員会会長）
- 【副会長】井出たまみ（民生児童委員）
- 【企画委員長】川田和豊（厚原西区）
- 【会 計】赤池芳（入山瀬天王町）
- 【監 事】大竹輝徳（久沢北 区長）

植松おみえ（民生児童委員）

5 月 10 日 生涯学習推進会総会

生涯学習推進会の「令和 6 年度総会」が 5 月 10 日、鷹岡まちづくりセンターで開かれ、本年度の事業予算、役員体制が決められました。



挨拶を述べる渡邊会長

総会であいさつに立った渡邊敏会長は冒頭、元旦に発生した能登半島地震にふれ、「住民同士励まし、助け合うことが大切であり、生涯学習推進会も人々が集まる機会を無理なく継続することで人と人との絆づくりを展開し、防災力の向上につなげたい」と述べました。

本年度も、本部と総務、成人教育、青少年育成、安全教育、体育保健、の各部がそれぞれ目標を定めた上で事業を計画、決定しました。

イベント関係では「第 53 回地区文化祭」を 10 月 19 日(土)と同 20 日(日)の 2 日間、「第 4 回ウォークラリー」を 11 月 17 日(日)に開催。各部が連携を密にしていくことを確認しました。

このほか、7 月に保護司会鷹岡支部と協調しての「朗読と講演のタベ」を、12 月 21 日に「クリスマスミュージカル」を、さらに県下一斉補導に呼応してのパトロールを 7 月 17 日(水)と 12 月 17 日(火)に開催することを決定しました。

さらに、健全で明るい人間関係と体力づくりを推奨するために“エンジョイスports”の場づくりにも引き続き取り組み、グラウンドゴルフなど各種スポーツ大会の開催や、大会への参加促進を図る手段としてファミリーバトミントンやソフトバレー、インディカ、卓球などスポーツ教室も開くことになっています。

本年度の予算総額は 353 万 7400 円。

役員体制は次の通り。※副会長などのカッコ内は担当部、支部長のカッコ内は担当区です。 「敬称略」

【会 長】 渡邊敏

【副会長】 佐野周司（体育保健部）、後藤敏巳（青少年育成部）、戸田照栄（総務部）、赤池正興（会長付）

【支部長】 渡辺敏彦（厚原西）、太田敏章（久沢東）、山崎哲男（久沢西）、小林伸年（久沢南）、村松辰信（久沢北）、若月義憲（鷹岡本町 1）、佐野嘉昭（鷹岡本町 2）、西村誠（鷹岡本町 3）、稲葉敏浩（入山瀬東）、前島正男（入山瀬西）、道越義朗（入山瀬天王町）、遠藤一正（入山瀬久保）

【監事】 浅野保司（久沢南）、佐野孝光（久沢東）

【会計】 赤池正興（厚原西）、後藤敏巳（入山瀬西）

【部長】 戸田照栄（総務部）、鈴木治男（成人教育部）、村松由美子（青少年育成部）、高塚資雄（安全教育部）、望月栄志（体育保健部）

生涯学習推進会総会では、永年、事業活動に貢献された、芦澤智浩さん（厚原西、故人）と勝又晋さん（久沢南）に感謝状が贈呈されました。

鷹岡中学校「天文教室」に参加してみませんか？

見上げてみよう！ 夜空の星を♪

屋上の天体ドーム

鷹岡中学校の校舎の屋上に、本格的な大型の望遠鏡が設置された「天体ドーム」があることをご存じですか？ 1966年に、西村清常氏より寄贈されたものです。設置後は積極的に利用されていた天体ドームですが、一時は使用頻度の減少により閉鎖状態に陥ったこともありましたが、しかし、「鷹岡中学校のシンボルである天体ドームを復活させてほしい」という声が高まり、2003年、市からの補助金を受けて修復されました。見事に復活した天体ドームは、現在も大切に受け継がれています。

鷹岡天文クラブと天文教室

天体ドームの復活により星空観察会が始まり、2004年に「鷹岡天文クラブ」が発足しました。同時に「天文教室」がほぼ毎月開かれるまでになりました。鷹岡天文クラブは、富士市在住の天体に詳しい方々が会員となり、天文教室のアドバイザーを務め、観月や星空鑑賞を行っています。



天文教室参加者募集

過去には、生徒や保護者、地域の方々が気軽に参加できる形で行われていた天文教室ですが、近年は生徒のみが対象となりました。この度、一般募集を再開することとなりましたので、興味のある方はぜひこの機会にいかがですか？

募集締切りは各回開催日の1ヶ月前となりますので、下記申込書を鷹岡中学校にお持ちいただくかFAXにてご送付ください。

鷹岡中学校(お問い合わせ・FAXはこちらへお願いします。)

電話 0545-71-3354 FAX 0545-71-3375

校舎の屋上に見える天体ドーム



令和6年度 鷹岡中学校 天文教室申込書

氏名		
住所		
電話番号		
参加希望日 (○をつける)	令和6年10月17日(木) (18:30~20:00) 予備日 令和6年11月5日(火)	令和6年12月6日(金) (18:00~19:30) 予備日 令和7年1月17日(金)



鷹岡地区防災かわら版

保存版

今回は、災害時に女性や妊産婦、乳幼児が避難生活を送る上で必要となり、各家庭でも備蓄しておいて欲しい日用品について紹介します。

女性や妊産婦、乳幼児の災害備蓄品も準備しよう！！ の巻

「女性・妊産婦用品」と「乳幼児用品」で主な災害備蓄品を載せてみました。
それぞれ7日以上備蓄するのが望ましいです。

女性・妊産婦用品

生理用ナプキン	おりものシート
女性用下着	サニタリーショーツ
母乳パッド	中身が見えないゴミ袋

乳幼児用品

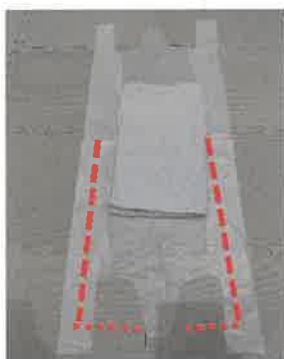
哺乳瓶・人口乳首・授乳用コップ	
粉・液体ミルク	離乳食
おむつ	おしり拭き
防臭袋	



これらのうち、備蓄していなかった時のための緊急用として代用できるものを紹介します。

大人用にも
応用できます

○ レジ袋&タオルで「おむつ」の作り方



大きめのレジ袋の持ち手の端と両端を切って開き、タオルを置く。

赤ちゃんを寝かせ、上側の持ち手部分を赤ちゃんのおなかの前で結ぶ。

下側の持ち手をおなかの結び目の下から通して結ぶ。

○ タオルハンカチで「布ナプキン」の作り方



タオルハンカチを下着の大きさに合わせて折る。

その中に余り布やティッシューパーを入れる。

☆やってみた感想☆

「おむつ」は横が開いてしまうため横漏れの心配がありますし、ビニールの音がカサカサして着けるのを嫌がるため、あくまで緊急用として利用し、市販のおむつを十分な量、備蓄した方がいいと思いました。おしり拭きは、災害時大人の体を拭くにも使えるので、用意しておくと思います。

おいでよ!(^^)!

すみっこ食堂 8



鷹岡地区の子ども達に食事や居場所、遊びの提供を行っているこども食堂「すみっこ食堂8」(主催：NP.O法人ボーイスカウト富士第8団)は、令和4年5月にオープン以来、順調に活動を続けています。

今回は、毎月8日の「すみっこ食堂8」の営業日におじゃましました。

広がるカレーの絆

7月8日午後5時、会場の「スカウトの家」にはカレーの香りが漂い始め、子ども達が集まり始めます。「カレー、お願いします!」「いらっしゃい! あっ、友達を連れてきてくれたんだね。ありがとう。」

オープン当初は、「果たして子供たちが来てくれるだろうか?」と戦々恐々。それが参加してくれた子ども達の口コミで1回当たりの平均参加者数は令和4年度の12人から5年度は22人となりました。

カレー作りスタッフは、鷹岡地区在住者を中心とした平均年齢60歳代の約10人。午後3時にスカウトの家に集合し、仕込みと会場準備を始めます。

ボーイスカウト富士第8団の戸田正明団委員長は「開催日が8日に固定で平日が多く、参加しにくいかわれましたが、逆に平日の方が、忙しい子ども達やご家庭の援助にもつながっていると感じています。子どもたちの笑顔に私達も癒されています」と微笑みます。



👉「ここのカレーはおいしい!」と子ども達

多くのご支援に感謝

すみっこ食堂8には、多くの皆様からの温かく優しい気持ちに寄せられ、県や富士市、県と富士市の社会福祉協議会からは補助金をいただいています。

また、労働者福祉協議会、地域の事業所、寺院、住民の皆様からお米等の現物から支援金までご支援をいただき、子ども達に配布しています。7月8日は、日本マクドナルド株式会社と協賛企業のご支援で、マクドナルド無料お食事券が配られました。子ども達からは、いつも以上の歓声が沸き起こりました。

多くの皆様のご支援に感謝申し上げます。

こども食堂「すみっこ食堂8」

ご案内

- ・開店日時 毎月8日 17:00~19:00
(ラストオーダーは18:30)
- ・場 所 ボーイスカウト富士第8団スカウトの家
(久沢785 「鷹の湯」様 東隣り)
- ・参加できる人 小中学生とその保護者
- ・メニュー カレー(デザートやお土産がある日も)
- ・料 金 大人も子供も一人 100円
- ・問い合わせ 戸田(Tel 71-4041)
ボーイスカウトへの加入も大歓迎!(^^)!



👉 食事の後の遊び場にもなっています

町 の 話 題

「富士山の火山防災マップ」 の説明会が行なわれました

5月14日午後7時から、鷹岡まちづくりセンターの1階ホールで、富士山防災危機管理課による標記の説明会が行われました。

今回の説明会は、富士山噴火について令和3年3月に新たな富士山ハザードマップが公表され、噴火による影響が及び範囲が拡大、富士山噴火時に地区住民がとる避難行動が大きく変わったことから鷹岡地区を対象に行われました。



説明会の会場です

当日は地区の役員、住人など67人が参加しました。

説明の中で、融雪型火山泥流(※1)については、鷹岡地区の下記の町内会が事前避難対象区域になりました。避難所となる岩松中、岩松小へ徒歩で避難することは難しいため、自家用車での避難が出来ない人のために、避難する時は、隣近所の声かけや助け合いが大切。共助体制を実現させましょう。

融雪型火山泥流の事前避難対象区域

町内会(区)	避難所	手段
入山瀬西区の一部(身延線より南側)	岩松中学校	徒歩又は自家用車
入山瀬天王町区		
鷹岡本町2区・3区	岩松小学校	

※1 融雪型火山泥流とは…

積雪がある時期(積雪期)に山腹に積もった雪が火砕流等の熱で一気に融けて濁流となり、火砕物や斜面の土砂を巻き込みながら高速(時速60kmを超えることもある)で流下する現象で、影響が及び範囲では事前の避難が必要な場合がある。

さくら祭り写真コンクール

第一席の会長賞は遠藤精次さん

鷹岡地区の春のイベント「さくら祭り」は4月6日に富士西公園で開かれました。「さくら祭り」と「鷹岡地区の春」をテーマに作品を募集し、応募者17名、作品数46点の中から第一席のまちづくり協議会会長賞には遠藤精次さんの作品『春の流れ』が選ばれました。

審査は、プロ写真家の近藤正寛氏(山梨県南部町在住)に依頼、遠藤さんの会長賞受賞作品の審査評は、「タイトルでは川が主役ですが桜の花とのダブル主役といえます。微妙なシャッター速度で捉えた動と

静との風景写真、その着眼に拍手」でした。

入賞・入選作品は、審査後の5月中旬から5月末にかけ、センター2階ロビーで展示されました。

会長賞に次ぐ入賞・入選者は次の通り。(敬称略)

※優秀賞…高橋正雄、岡田利春

※入選…平井敬子、仁藤政孝、佐野哲芳、鈴木政美、高田悦夫、三神壽明、小野正之



会長賞の遠藤さんの作品です

7月は社会を明るくする運動 & 再犯防止強調月間でした

7月は法務省が主唱する第74回社会を明るくする運動と、内閣府が主唱する令和6年度青少年の非行・被害防止強調月間でした。鷹岡地区では、保護司会や更生保護女性会、生涯学習推進会がスクラムを組み、区長会やまちづくり協議会のバックアップも受け、その記念事業とする『朗読と講演のタベ』が10日夜、まちづくりセンターを会場に開かれました。



講演する小林さん

第一部は活動報告でした。

- ・更生保護女性会による活動報告と詩の朗読
- ・生涯学習推進会青少年育成部による活動報告

第二部は講演でした。

演題『困る子ではなく、困っている子に適切な支援を』

～不登校、二次障害を防ぐために～

講師 小林 尚子 さん

編集後記

昔から特に怖いものとして「地震、雷、火事、おやじ」といわれています。一説では“おやじ”とは台風のことだともいわれていますが…。

現代版では、地球温暖化(地球沸騰化とも)により「線状降水帯」や「熱中症」が追加されるのではないのでしょうか。

異常気象などにより、まだまだ怖いものが増えてきそうですが、古人の戒め「備えあれば憂いなし」を改めて肝に銘じ、「いざ!」という事態に備える専守防衛を心掛けたいものです。

(Y・A)